

患者支援部だより



第38号

令和4年2月発行

コロナ禍でのがん治療が果たす役割

—東札幌病院の目指すもの—

東札幌病院 副理事長／病理・免疫センター長／札幌医科大学 名誉教授 佐藤昇志

歯科口腔外科診療について

歯科口腔外科医長 太子芳仁

第3回・第4回合同

がん緩和ケアに関する国際会議のご案内

理事長 石谷邦彦

コロナ禍での がん治療が果たす役割

—東札幌病院の目指すもの—

東札幌病院副理事長／病理・免疫センター長

札幌医科大学名誉教授 佐藤昇志



新型コロナウイルス(COVID-19)の波がなんどもおしよせてきています。その都度、防止の緊急措置や個人の様々な行動自粛でその波が収まってきたわけですが、根本の不安がぬけないまますでに2年が過ぎています。一方で、コロナはこの2年間という短い年月でそれまでの社会のいくつかのひずみも変えてきました。ZOOMなどによるネット会議、ネット講義、ネット学会、ネット観光等のように、わざわざの移動なしに、自宅に居ながらにして効率の高い、あるいは快適な時間の新たな創生を可能にしました。また一極集中の社会的なひずみ是正のため、国や地方がいくら旗を振っても不可能だった密な大都会からの地方移住が全世界でおこっているといわれています。たとえば東京は2021年1年で40万人以上の都民が地方移住しました。そのうちなんと1万人がすでに北海道各地に移住したと報道されています。北海道は適度に過疎である、つまり「適疎」で人気があるようです。言葉が適当でないかもしれませんが、このような意味でコロナは人類社会の調整の役割を瞬時に担いました。

また、コロナは大きな教訓、教えをあっという間にわれわれに与えました。それは、免疫の凄さ、です。私達は医学の基盤は、結局は免疫と考えてきました。200年以上前のジュンナーによる天然痘のワクチンの原形開発以来、人類の感染症の脅威に何度も免疫が立ち上がり、教訓を与えてきました。新型コロナウイルス感染症もこのようなことを人類にいやというほど知らしめました。ファイザーやモデルナのmRNAワクチンはほぼ100%の効率でコロナへの免疫を獲得させ、予防し、病態を軽減し、人類は助けられたのです。まるで映画や小説の世界のような圧巻の事実であり続けています。

私は世の中はコロナ禍の中にあるものの、将来は決して暗くないと思います。なぜなら、コロナ禍は反面教師としての大きな役割をはたしつつあり、医学も社会もずいぶんコロナ禍から学び、医学、医療のあらたな対応方法も会得しました。免疫予防、ワクチン研究もそうです。今後ますます素晴らしく研究も進むで

しょう。コロナウイルスに限らず、ほかのウイルスも将来変異しヒトへの脅威になる可能性はいくらでもあります。しかしmRNAワクチンはいかなる変異にも適応でき、コロナのように対応できるでしょう。ウィズコロナ (with Corona) はワクチンと免疫で十全に人々が地球上で共存できる可能性をさし、私はそれが可能と思います。世の中を回してくれるはずです。

皆さんご存知のようにコロナ禍にあって、多くの病院がいろいろな規制、自粛をおこないました。しかし、東札幌病院はそれまでと同様に日々の病院ルーチンを継続し、がん医療、緩和医学の日常を綿々と、粛々と、つづけてきました。クラスターに陥ることもなく今日にいたっています。当然といえばそれまでですが、東札幌病院に働く方々全ての注意深さや努力のたまものでしょう。東札幌病院の気風、DNAとも感じられ、素晴らしいことと思います。

他院から東札幌病院はどうみえているのでしょうか？ 私は札幌医科大学教授時代や定年での退職の後にいろいろな市中病院や機関にかかわらせていただいています。多少我田引水になることをお断りしつつ、それらのかかわりの中で私が今日まで見聞したことは、「あの病院は1-2ランク上」「アカデミック」「東札幌病院は最後に頼める、頼れるところ」「最後の砦」等のことばにあります。どれも病院にとり実に嬉しい言葉ではありませんか。

これはコロナ禍でもなされ続けてきた普通の

いわば全人医療のルーチンの継続あればこそ、と私は思います。例えば、がん医療では、最新治療の積極的導入、最も進んだ緩和医科学をフルに実践してきました。その結果、最新の臨床腫瘍学をあるべき姿で実践し、患者さんや家族に提供していると思うのです。実際、筆者自身も東札幌病院での患者経験者です。東札幌病院に流れるこのような空気に癒され、安堵したものです。

地域連携室等を通して東札幌病院に患者さんをご依頼いただけるなら、このような本院の空気にぜひ接していただきたいと思います。できれば患者さんの病態がぎりぎりになる前のより早い段階から本院にご紹介いただければ、より患者さんご本人に適切な医学、医療を提供することが可能と思います。患者さんは百人百様です。おのおのにあった対応が本院のミッションでもあります。全く遠慮はいりません。ご相談ください。

「最後に頼れる病院」としてこれからも日々の病院のルーチンを推し進め、一層の発展につなげていければと心から願います。



歯科口腔外科診療について

歯科口腔外科医長 太子 芳仁



■診療科概要

私たちは歯科医師4名、歯科衛生士5名で診療にあたっており、外来診療は歯科用ユニット4台で施行しております。また、入院診療では移動が困難な患者さんへの訪室にもできる限り対応し、治療およびケアを看護師や歯科衛生士ともども行っております。

■診療内容

当科は、口腔内とその周辺に発生するさまざまな疾患を診療対象とする科で、日本口腔外科学会認定准研修施設としての認定を受けており、以下の歯科口腔外科疾患全般について専門的な治療を行っています。

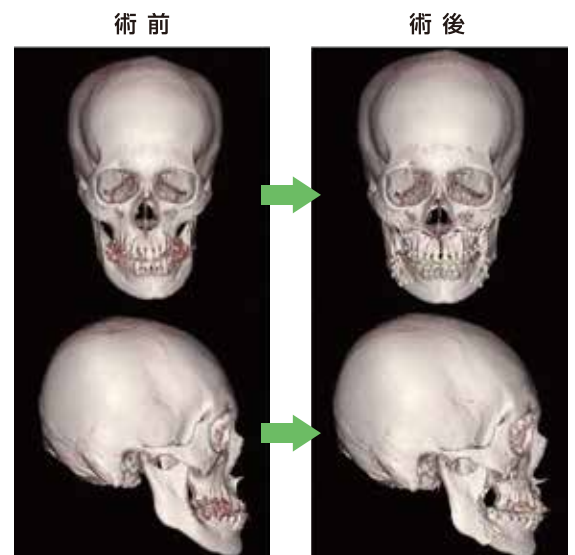
- ①埋伏歯（智歯・過剰歯）の抜歯をはじめ、
歯の移植・再植手術、インプラント埋入手術
- ②顎骨骨折、歯の脱臼
- ③嚢胞、腫瘍に対する外科手術
- ④歯性炎症
- ⑤顎変形症
- ⑥口腔粘膜疾患
(口内炎・口腔乾燥症・舌痛症・味覚障害など)
- ⑦唾液腺疾患、顎関節疾患、神経疾患
(三叉神経痛、顔面神経麻痺)

次のような症状がありましたら、
遠慮なくご相談もしくは受診してください。

- ▶ 歯が痛い、歯ぐきが腫れて痛い
- ▶ 顎や顔が急に腫れた、口の中や歯・顎を強く打つなどケガをした
- ▶ 口内炎や口の中の傷が治らない
- ▶ 口の中にできものができた
- ▶ 口が開きづらい、口を開けるときに音が出る、顎が痛い
- ▶ 口が乾く、舌がピリピリして痛い
- ▶ インプラントの治療を考えたい
- ▶ インプラントをするには骨が足りないと言われた



また、当科は地域の2次医療機関として開業歯科医院と連携し歯科口腔外科疾患の治療にあたっており、全身的な疾患（心臓病、脳血管障害、糖尿病、悪性腫瘍など）のために一般歯科医院での歯科治療が難しい場合には、通常の歯科治療を行っております。近年は顎変形症の治療にも注力しており、札幌市内の矯正歯科専門医と定期的に症例検討を行い、患者さんの最も機能的に安定する咬み合わせを確立すべく、緊密に連携して治療を行っております。



■ がん治療

当院はがん治療・がん緩和ケアを専門とする病院であることから、我々が口腔がん患者さんの緩和ケアにも積極的に取り組んでいるだけでなく、口腔以外の領域のがん患者さんに対しても、がん治療早期から口腔衛生管理・口腔ケアに取り組み、がん治療、がん進行に伴う口腔合併症の予防、症状緩和を積極的に推し進めています。



■ 診療実績 2021年

外来	
新規患者数	1,040人
紹介率	47.5%
受診患者数(延べ)	10,519人

入院	
患者数	184人
全身麻酔手術件数	183件

■ 手術実績 (重複含む)

	外来	入院		外来	入院
智歯抜歯術	303	256	腐骨除去術	12	0
智歯以外の抜歯術	704	40	軟組織腫瘍切除術	8	3
歯根端切除術	31	5	顎骨嚢胞摘出・開窓術	33	4
歯の再植・自家移植術	4	0	唾液腺粘液嚢胞摘出術	16	0
埋伏歯開窓術	5	0	顎下腺摘出術	0	1
頬・口唇・舌小帯形成術	4	0	顎骨内異物除去手術	0	43
骨隆起形成術	9	1	Le Fort I型骨切り術	0	42
顎堤形成術	0	2	下顎枝矢状分割術	0	46
インプラント植立術	14	6	オトガイ形成術	0	27
インプラント摘出術	1	1	咀嚼筋腱・腱膜過形成症手術	0	2
口腔内膿瘍切開術	55	0	口蓋悪性腫瘍手術(部分切除術)	0	1

その他ご質問・お問い合わせなどは
下記番号までお気軽にどうぞ。



● お問い合わせ先

歯科口腔外科外来 直通電話
TEL 011-555-3348



第3回・第4回合同

がん緩和ケアに関する 国際会議のご案内

理事長 石谷邦彦



東札幌病院はアジアにおけるがん緩和ケアの学際的な発展を期して国際カンファレンスを主催しています。第1回を2014年に、第2回を2017年に開催し、いずれも欧米からそれぞれ20人に及び一流の研究者を招聘し、そして世界から800人の関係者の参加のもと熱い議論を重ねがん緩和ケアの進展に寄与してきました。

2020年に第3回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症パンデミックのため、2023年開催予定であった第4回と合同の開催として、本年2022年7月21～23日の3日間の会期で開催することになりました。医学的にはこのパンデミックは既に収束傾向にあると判断し通常の学会形式で行う予定です。

今回は欧米からの32人の世界の著名な研究者を招聘しています。プログラムの構成は1日目はパリアティブ・オンコロジー（緩和的腫瘍学）の趣旨で、シンポジウム「オピオイドとがんの痛み；進化するその科学と実践」と、今注目されている「緩和ケアと臨床腫瘍学の統合」のセッションを企画しています。2日目はサイコオンコロジー（精神腫瘍学）の趣旨でシンポジウム「スピリチュアル・ケア」と「実存的苦痛のケア」のセッションを企画しました。3日目は現在最も話題となっている「緩和ケアとデジタル・ソリューション」のセッションと、今世界が安楽死容認の傾向がある中、シンポジウム「安楽死の本質的な議論」が企画されました。その他の講演も用意され、また一般演題の応募も海外からのも含め80題になろうとしています。このようなカンファレンスは世界的にも稀有な存在として各方面から称賛の声が上がっています。また多くの方々からの問い合わせもあり主催者としてたいへん嬉しく思っています。

2015年国連は「我々の世界を変革する；持続可能な開発のための行動指針」を採択し、17の目標を設定しました。いわゆるSDGsであり、その健康分野がSDG3としてユニバーサル・ヘルス・カヴァレッジ（UHC）が中心となっています。そしてUHCの4項目の一つに緩和ケアが取り上げられています。これは未来に向けての新たな保健医療の枠組みが設定された事を意味しています。本国際カンファレンスでもこの潮流を見据えた議論が展開される事でしょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





2022年夏、主要各国から有識者をお招きし、弊院主催のもと完全同時通訳にて開催いたします。がん医療を中心とした専門性を確立するための学際的かつ学術的研究と教育を行う貴重な機会です。ぜひ、ふるってご参加ください。

会期 2022年

7/21(木) 22(金) 23(土)

会場 札幌市中央区南10条西3丁目

札幌パークホテル

- 第3回大会長 照井 健 (医療法人東札幌病院)
- 第4回大会長 三宅 智 (東京医科歯科大学大学院)

主催 医療法人東札幌病院

事前参加登録締切 一般演題募集締切※

5/31 2022 **火** **11/30** 2021 **火** ※演題の募集は締め切りました

<http://www.sapporoconference.com>

第2日目

7/22(金)

8:00-12:00 シンポジウム2

なぜ緩和ケアにスピリチュアル・ケアを組み込むことが必要なのか

基調講演 専門職連携のスピリチュアルケアにおける教育及び臨床モデル：緩和ケアの不可欠な要素

緩和ケアにおける不可欠要素としてスピリチュアルケアの統合を支援するスピリチュアリティと緩和ケア：最新エビデンスと今後の優先課題とは？スピリチュアル・ケア専門家から見た緩和ケア
実存的ないしスピリチュアルな苦痛を持ちながら、進行性や終末期の病いととも生きる患者に対して、スピリチュアルで思いやりのあるケアを取り入れる

12:00-13:00 ランチョンセミナー2

医学、そして生と死における緩和ケア：その実存的意義

13:00-17:00 プレナリーセッション2

緩和ケアの臨床における実存的苦痛の要因とその影響

緩和ケアの実存的問題におけるサイコオンコロジーの役割
実存的脅威に直面する患者とのコミュニケーションについて
実存的に苦悩する患者はいかに臨床医に影響を与えるか
「死と死に近づく過程」に関する医療と社会の論調とその緩和ケアへの影響について

17:00-18:00 イブニングセミナー2

グローバルな緩和ケアの発展に向けて：国際的な政策過程を介したケア・サービスと必須薬剤の利用促進についての提言

第1日目

7/21(木)

8:00-12:00 シンポジウム1

オピオイドとがんの痛み：進化するその科学と実践

基調講演 “臨床における調和” 最善の臨床を通して、利益を最大に損益を最小に

序論

オピオイド受容体：構造と機能、そしてその可塑性
遺伝子多様性(変化性)とオピオイドの損益との調和について
がん疼痛管理のシステムの変革に向けて-病態全体から痛みを考える
科学的なオピオイド臨床応用の3事例：オピオイド・ローテーション、突出痛への対応、メサドンの役割

12:00-13:00 ランチョンセミナー1

オンコロジーと緩和ケアの統合、その歴史と未来への方向性

13:00-17:00 プレナリーセッション1

臨床腫瘍学と緩和ケアの統合-最近の動向

オンコロジーと緩和ケアの統合：適切な患者のために、適正な時期に適正な介入を提供する

血液悪性腫瘍の根治的治療と緩和ケアの統合について
免疫療法治療薬に伴う免疫関連有害事象
がんリハビリテーションと緩和ケア

17:00-18:00 イブニングセミナー1

緩和ケアの将来に不可欠な要素-パリアティブ・ナーシング

13:00-17:00 ワークショップ ※別会場にて開催予定

進行がん患者の人生の意味に焦点を当てた精神療法

第3日目

7/23(土)

7:05-12:00 プレナリーセッション3

情報と伝達の技術が導入される緩和ケア (Technology-enabled palliative care) の現状と将来

序論

第四次産業革命とヘルスケア、特にCOVID-19パンデミック後の
メディカルデジタルトランスフォーメーション
ヘルスケアプラットフォームにおけるインテリジェンスの強化-
マイクロソフトの見解

遠隔医療、人工知能、デジタル治療など、これらはゲーム“ライズ
オブザロボット”か、それとも“心のこもったケアの未来”か？
COVID/パンデミックにおける電子患者報告アウトカム測定の実施
と遠隔医療

Technology-enabled palliative careの倫理的側面

12:00-13:00 ランチョンセミナー3

新しいサポーティブ・オンコロジー分野の開拓

13:00-17:00 シンポジウム3

安楽死・医師による自殺援助と緩和ケア、その本質的な議論に臨む

序論

死、尊厳、そして死への希求
医師が患者の死を早める事の倫理的、法的、そして専門家の
適応状況
医師が死を早める事に対する精神科的真相と実存的問題
医学的な死への援助はいつが適切なのか？



当院では、他医療機関からのご紹介による患者受診受付を、患者支援部門地域連携室で承っております。

患者さまのご紹介

受診・検査・入院予約について

直通ダイヤル

TEL 011-817-5120 FAX 011-817-5130

予約・予約変更の電話受付時間 月曜～金曜9:00～17:00 / 土曜9:00～12:00

ご紹介の流れ

当院では、適切な説明のもとに、受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択されるよう努力しております。患者さま・ご家族の皆様と緩和ケアの方針に齟齬が生まれないよう、可能な限りご説明に関する情報についてご提供いただきますようお願い申し上げます。

一般外来受診希望者のご紹介

セカンドオピニオン外来、病をよく識る外来(病理相談)を除く

1 ご紹介元医療機関が電話またはFAXを送信

[診療予約(一般外来)申込票Word]にて予約日時、患者受診科を決定します

2 東札幌病院地域連携室がご紹介元医療機関にFAX

●東札幌病院受診予約票(Word)
●問診票(PDF)

3 ご紹介元医療機関が患者さんへ書類をお渡し

●紹介状[診療情報提供書(投薬情報含む)]
●予約票 ●問診票

4 患者さまが予約日時に外来受診

●保険証 ●紹介状
●予約票 ●問診票 などを持参

※診療予約(一般外来)申込票、東札幌病院受診予約票、外来問診票、外来外科(肛門科)問診票、外来外科(乳腺)問診票、外来歯科・歯科口腔外科問診票は、当院ホームページでダウンロードできます。

〈各種申込票・予約票・問診票ダウンロード〉
<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>

緩和ケア目的での入院、外来通院希望者のご紹介

1 ご紹介元医療機関が電話にてご連絡

まずはお電話ください。

2 東札幌病院地域連携室が受診日を調整

基本的に、ご相談のお電話をいただいた際に調整をいたします。

3 ご紹介元医療機関が当院へFAX送信

●診療情報提供書(処方内容含む)のコピー
●患者情報用紙または看護添書のコピー
●保険証のコピー

4 患者さまが予約日時に受診

●診療情報提供書(処方内容含む)の原本
●患者情報用紙または看護添書
●検査画像(直近のもの)および採血データ
●保険証原本 ●外来問診票 を持参

※外来問診票は、「患者のみ受診」もしくは「患者と家族が受診」の場合は患者用の外来問診票を、「家族のみ受診」する場合は家族用の外来問診票をご持参ください。※入院・転院患者情報用紙、外来問診票(患者用・家族用)は当院ホームページでダウンロードできます。<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>
※保険診療となります。診断群分類包括制度(DPC)の場合など、医事課あての連絡文書をお願いします。

関連施設のご紹介

厚別老人保健施設 ディ・グリュエーン

〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-5580 FAX 011-898-6760

在宅療養支援診療所 ヘルスクエアクリニック光

〒003-0024 札幌市白石区本郷通1丁目南3番26号
TEL 011-860-1043 FAX 011-860-1044

訪問看護ステーション 東札幌

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2600 FAX 011-812-2605

ヘルパーステーション 東札幌

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-841-1129 FAX 011-812-2533

訪問看護ステーション みずほ

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目12番28号
長谷川第2ビル 2階
TEL 011-807-5855 FAX 011-807-5157

指定居宅介護支援事業所 東札幌

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2500 FAX 011-812-2533

指定居宅介護支援事業所 ディ・グリュエーン

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目12番28号 長谷川第2ビル 2階
TEL 011-807-5156 FAX 011-807-5157

札幌市白石区 第2地域包括支援センター

〒003-0003 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番25 (株)シヴァビル 5階
TEL 011-837-6800 FAX 011-837-6801

介護予防センターもみじ台

〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-8660 FAX 011-898-6760

医療法人東札幌病院

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35

TEL 011-812-2311 FAX 011-823-9552

<https://www.hsh.or.jp/>

患者支援部
発行 TEL 011-817-5120 (直通)
FAX 011-817-5130

発行責任者:医療法人東札幌病院 患者支援部
編集責任者:病院長 西山正彦

